

2021年6月 イーアイデム会員対象アンケート結果

TOPICS

勤務時に適切ではないと思う身だしなみ
「肌の露出が多い服装」が62.2%で最多

株式会社アイデム
東日本事業本部 データリサーチチーム

調査名

- ▶【イーアイデム会員限定】お仕事探しに関するアンケート

調査目的

- ▶現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる

調査対象

- ▶総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2021/06/01～2021/06/30の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人

調査期間

- ▶2021/06/02～2021/07/05(34日間)

調査方法

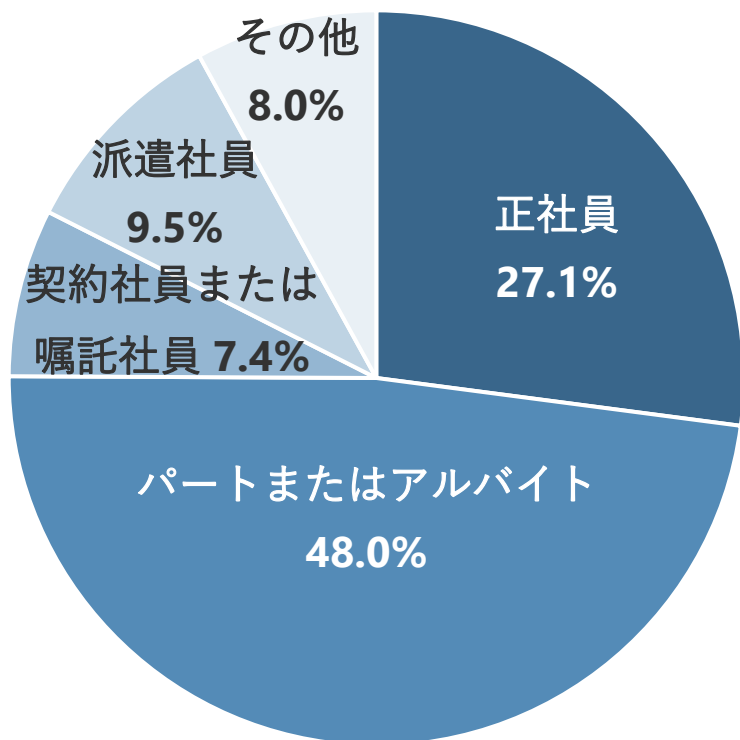
- ▶インターネットリサーチ
(株式会社マクロミル「クエスタント」を使用)

有効回答数

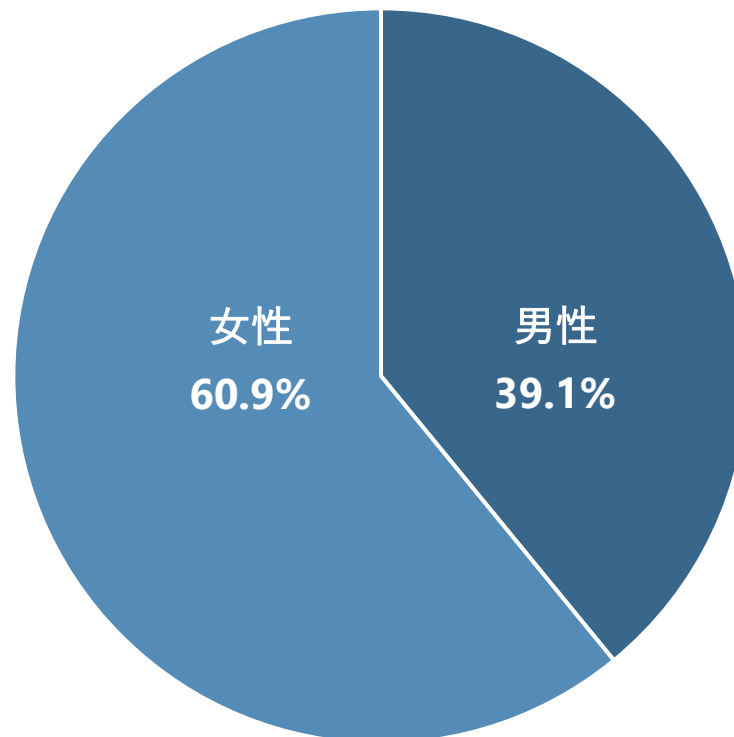
- ▶325件

※調査結果は四捨五入のために合計が100%にならない場合があります

希望する雇用形態



性別



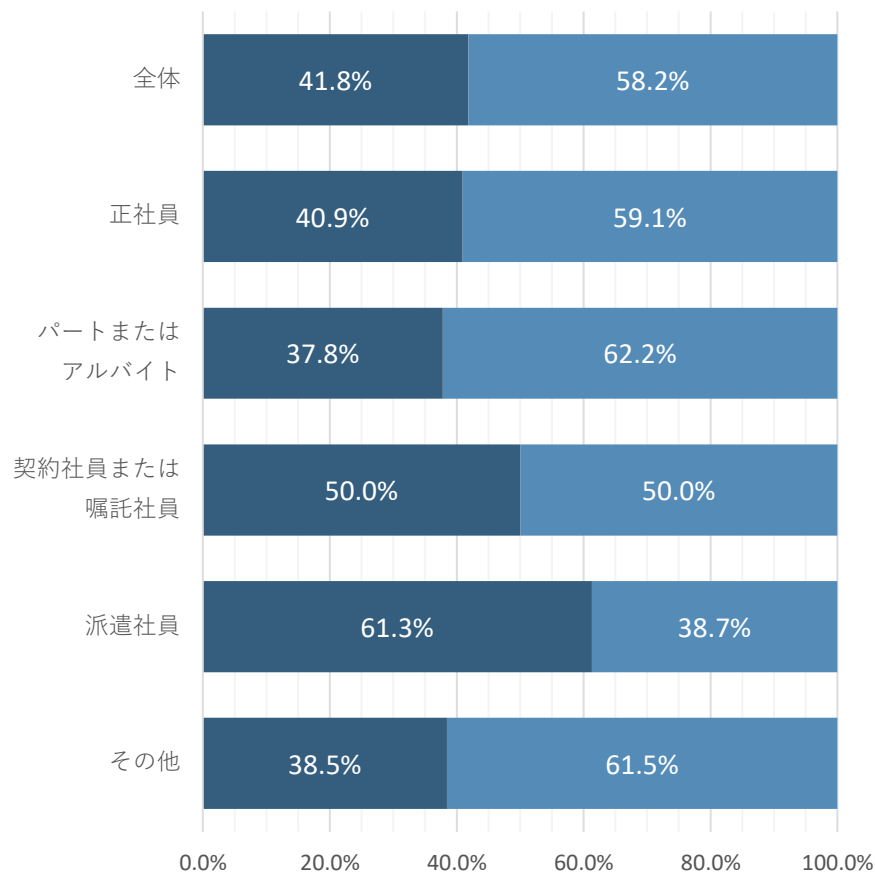
イーアイデムから求人に応募した人に、今回仕事探しをしている理由に「新型コロナウイルス感染症の影響」は関連しているかきいた。

全体で41.8%が「はい」と回答し、約4割の回答者が新型コロナウイルス感染症の影響を受けて仕事探しをしていたことがわかった。2020年4月以降徐々に割合は減少してきているが、40%を切ったのは21年4月調査時だけだ。

希望雇用形態別に影響の有無をみると、「派遣社員」では約6割となり、全体数値と比べ20pt程度高かった。「パートまたはアルバイト」では37.8%となり、希望雇用形態別では最も低い結果となった。

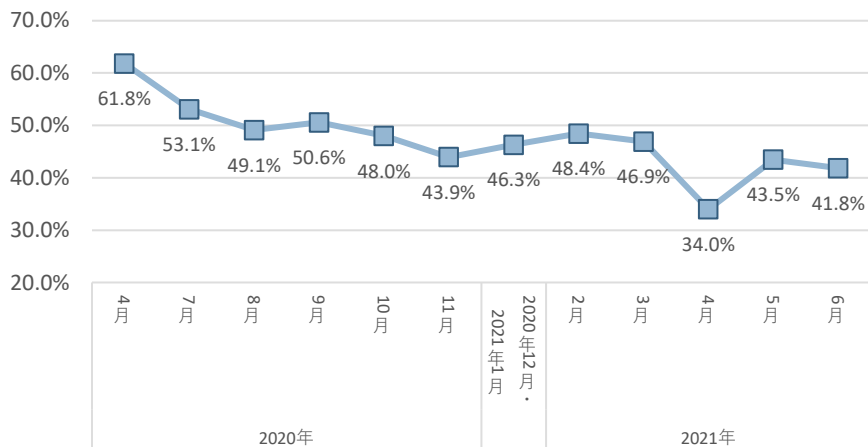
今回仕事探しをしている理由には、新型コロナウイルス感染症の影響は関連していますか。

■ はい ■ いいえ



参考

新型コロナウイルス感染症の影響
「はい」と回答した割合

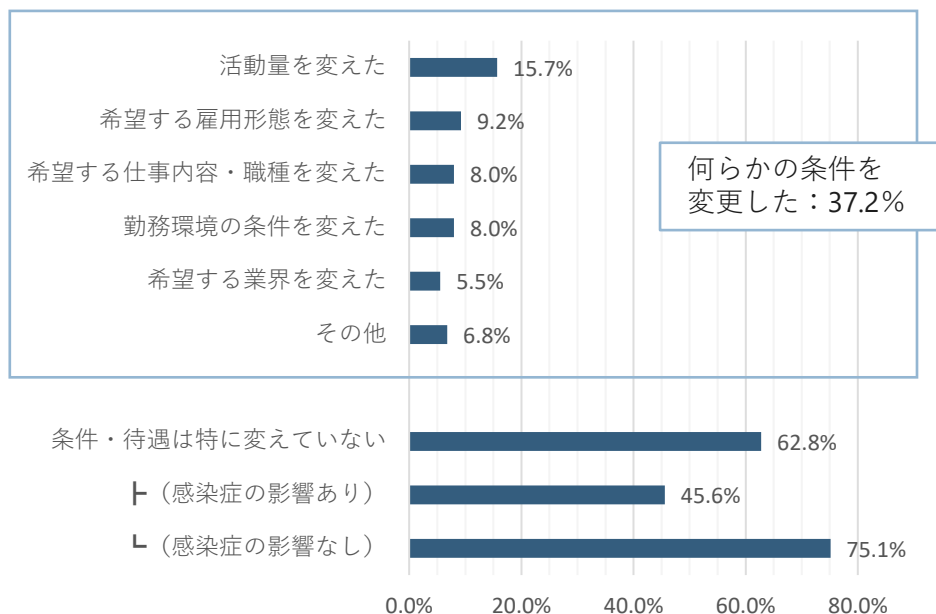


イーアイデムから求人に応募した人に、新型コロナウイルス感染症拡大の前後で仕事を選ぶ際の条件等は変わったかきいた。全体では「何らかの条件を変更した」37.2%、「条件・待遇は特に変えていない」62.8%となり、コロナ禍においても仕事探しの軸を変えない人が6割超となった。

「何らかの条件を変更した」人の状況を見ると、最も多かったのは「活動量を変えた」で15.7%、次いで「希望する雇用形態を変えた」が9.2%、「希望する仕事内容・職種を変えた」と「勤務環境の条件を変えた」が8.0%となった。自由意見をみると、職場の感染症対策を求人情報から確認する人が増えてきている。

「条件・待遇は特に変えていない」について、今回仕事探しをしている理由に新型コロナウイルス感染症の影響がある人となない人を比較した（P4参照）。「感染症影響あり（『はい』と回答/以下同）」の人は、「条件・待遇は特に変えていない」割合が45.6%で、「感染症影響なし（『いいえ』と回答/以下同）」（75.1%）より29.5pt低くなっており、半数以上が注目する条件・待遇を見直したと回答した。

新型コロナウイルスの感染拡大により、仕事探しの際に注目する条件や待遇は変わりましたか？（複数回答）



見直した条件

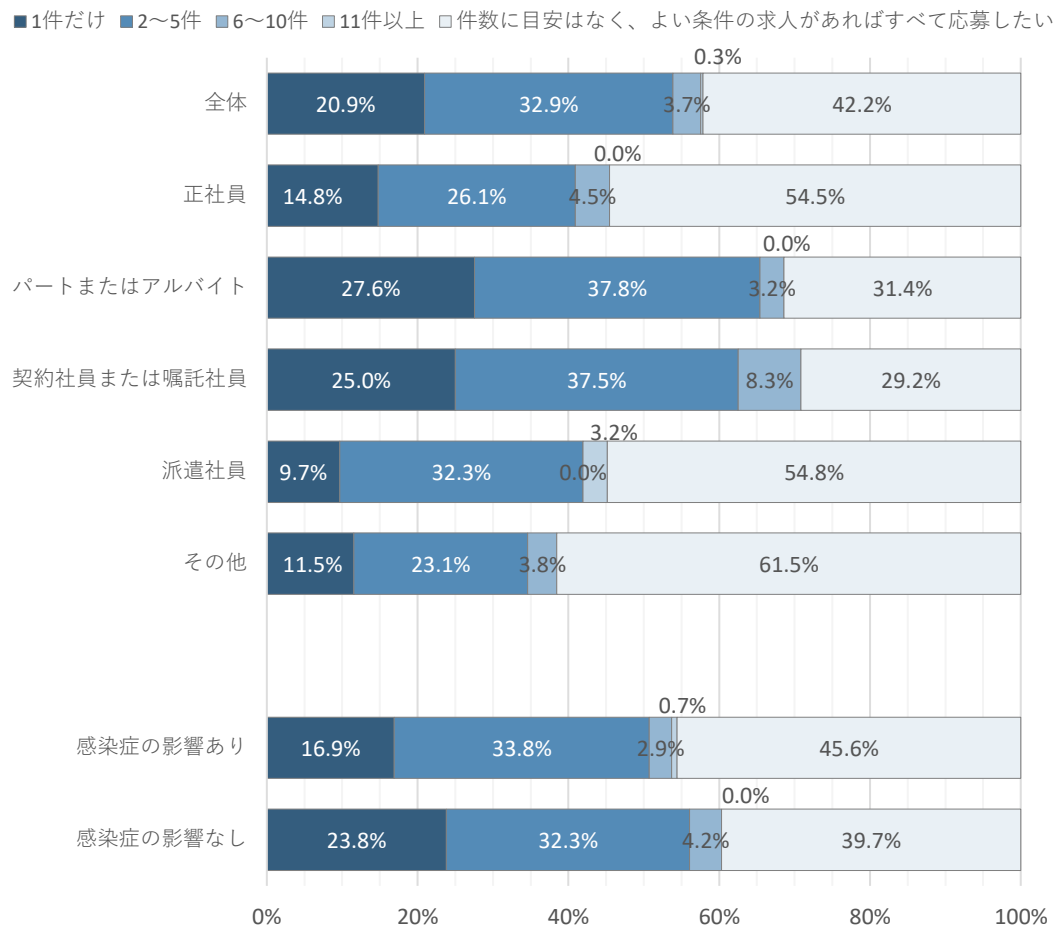
希望雇用形態	性別	年齢層	自由意見
正社員	男性	30代	将来的に安定する職場環境、正社員登用を狙うようになりました。通いやすい距離の職場を検討しています。
派遣社員	女性	30代	コロナの影響で、空調設備が完備されてる場所を選ぶようになった
正社員	男性	40代	現在契約社員だが、給料が安すぎる。副業も駄目と時代遅れなことで縛り付けようとするため、職探しをしている。
正社員	女性	50代	今現在パートをしているが、もう少し収入を増やしたく、就職活動しています。
正社員	男性	50代	求人情報から、コロナ対策をしてるか？を見る様になった
パートまたはアルバイト	女性	50代	こまめに求人を見る様になった

イーアイデムから求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、求人に応募する件数の目安があるかどうかきいた。全体では、「よい条件の求人があればすべて応募したい」が最も多く42.2%、次いで「2～5件」が32.9%、「1件だけ」が20.9%、「6～10件」が3.7%、「11件以上」が0.3%となった。「1件だけ」以外を選んだ割合は約8割となり、多くの人が複数応募を前提に活動している。

希望雇用形態別にみると、「正社員」では、「件数に目安はなく、よい条件の求人があればすべて応募したい」の割合は約半数の54.5%となった。「パートまたはアルバイト」では「2～5件」が38.7%で、正社員希望者よりも10pt以上高かった。

仕事探しにおける新型コロナウイルス感染症の影響の有無（P4参照）との関連をみると、「感染症の影響なし」と回答した人は「感染症の影響あり」と回答した人よりも「1件だけ」の応募を検討する割合が高かった。「感染症の影響あり」と回答した人の方が、「件数に目安はなく、よい条件の求人があればすべて応募したい」を選んだ割合が高かった。

今回の求職活動期間の中で、
およそ何件ほど応募しようと思いますか。

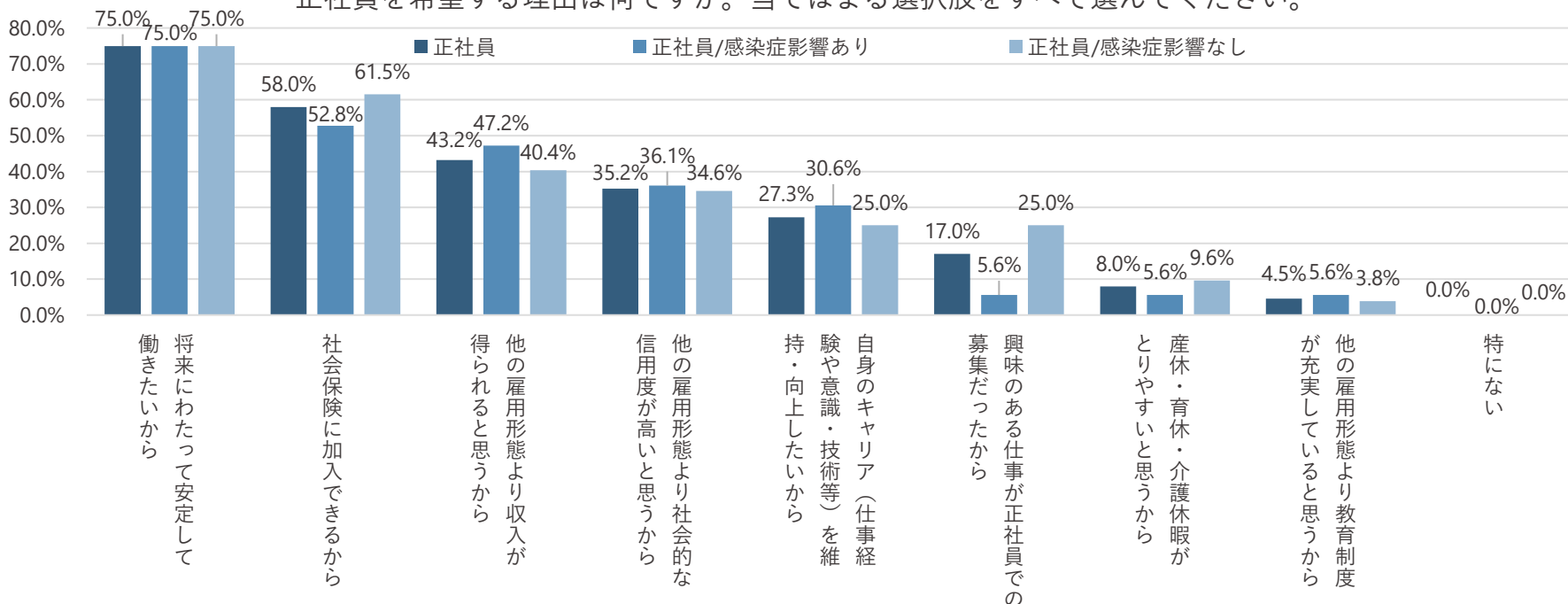


イーアイデムから求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかをきいた（複数回答）。最も多かったのは「将来にわたって安定して働きたいから」で75.0%、次いで「社会保険に加入できるから」が58.0%、「他の雇用形態より収入が得られると思うから」が43.2%となっている。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）との関連をみると、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人より「他の雇用形態より収入が得られると思うから」を選んだ割合が6.8pt、「自身のキャリアを維持・向上したいから」では5.6pt高かった。収入の充実のほか、今後のスキル向上等も踏まえた雇用形態の選び方を重視している。

「感染症影響なし」の人は「感染症影響あり」の人よりも「興味のある仕事が正社員での募集だったから」を選んだ割合が19.4pt、「社会保険に加入できるから」では8.7pt高かった。仕事内容を優先して雇用形態を決めた人が多いようだ。

正社員を希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



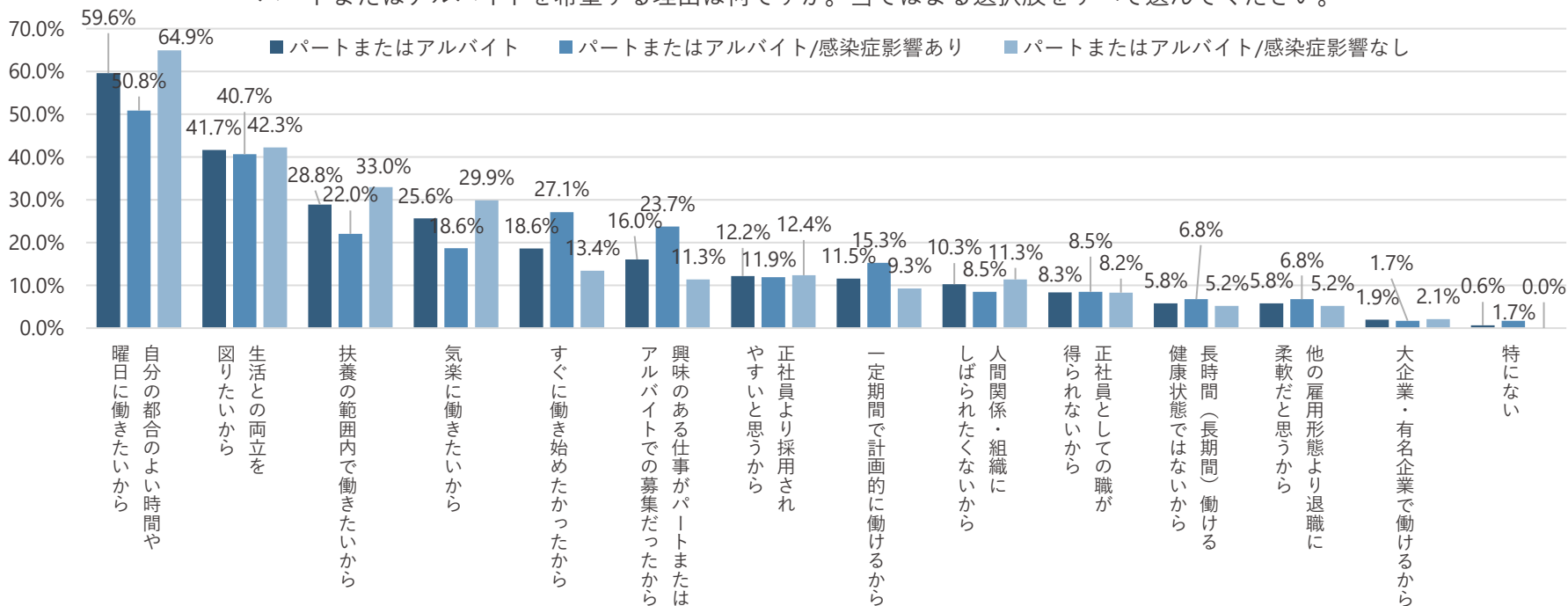
パート・アルバイトを希望する理由

イーアイデムから求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかをきいた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合の良い時間や曜日に働きたいから」で59.6%、次いで「生活との両立を図りたいから」が41.7%、「扶養の範囲内で働きたいから」が28.8%となった。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）について、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人と比べて、「すぐに働き始めたかったから」は13.7pt、「興味のある仕事がパートまたはアルバイトでの募集だったから」は12.4pt高くなった。取り急ぎ職に就くことを優先し、雇用形態にこだわっているわけではない人が一定数いるようだ。

「感染症影響なし」の人は「感染症影響あり」の人よりも「自分の都合の良い時間や曜日に働きたいから」で14.1pt、「気楽に働きたいから」で11.3pt、「扶養の範囲内で働きたいから」で11.0pt高くなった。現在の生活の中で生まれた時間を有効に使いたいと考えて仕事探しをしている人が多い傾向がわかる。

パートまたはアルバイトを希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



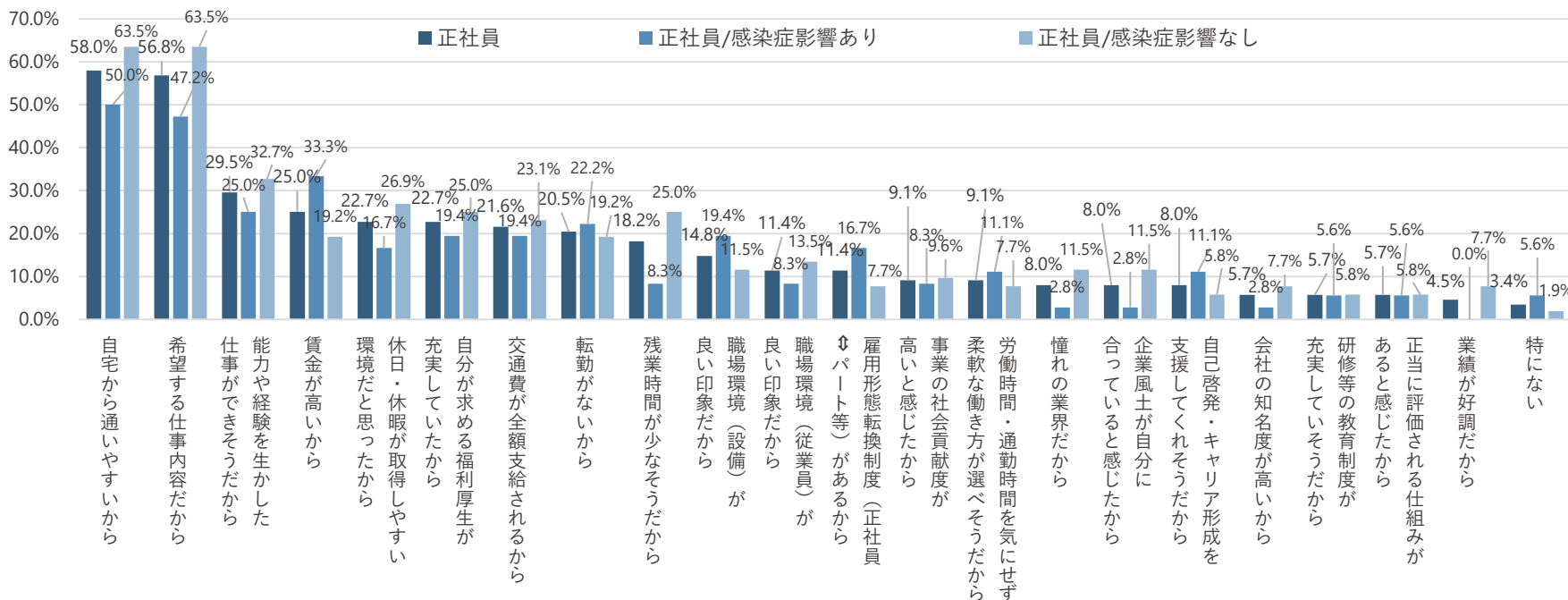
求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムから求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」の58.0%、次いで「希望する仕事内容だから」が56.8%、「能力や経験を生かした仕事ができそうだから」が29.5%となった。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）との関係を見ると、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人よりも「賃金が高いから」が14.1pt、「雇用形態転換制度（正社員⇔パート等）があるから」が9.0pt、「職場環境（設備）が良い印象だから」が7.9pt高かった。正社員雇用を希望する理由(P7)で「他の雇用形態より収入が得られると思うから」を選んだ割合が6.8pt「感染症影響なし」の人よりも高かったこともあり、金額を重視して仕事探しをしている人が多いことがわかる。

「感染症影響なし」の人では、「感染症影響あり」の人よりも「残業時間が少なそうだから」が16.7pt、「希望する仕事内容だから」が16.3pt、「自宅から通いやすいから」が13.5pt高かった。無理なく従事できる仕事環境を求めている傾向がみられる。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



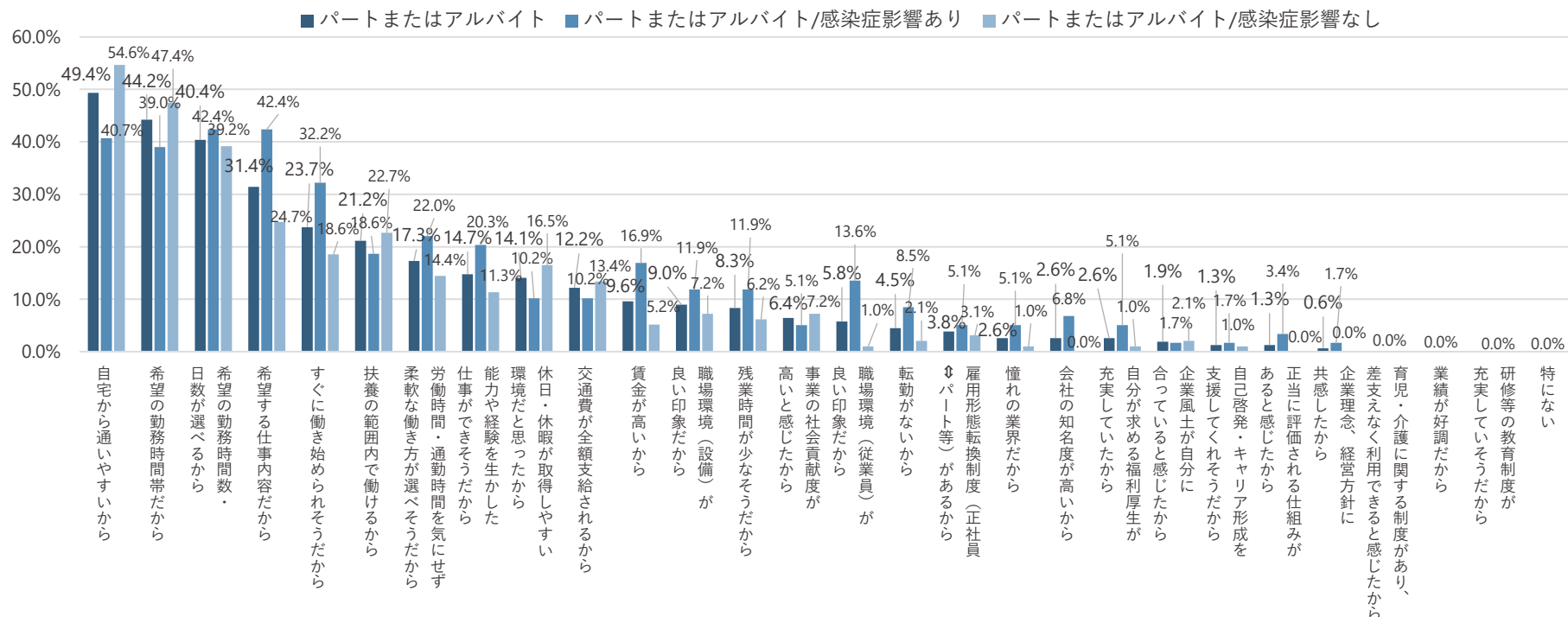
求人に応募した理由（パート・アルバイト希望の場合）

イーアイデムから求人に応募した、パートまたはアルバイト雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」で49.4%、次いで「希望の勤務時間帯だから」が44.2%、「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が40.4%となった。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）について、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人よりも「希望する仕事内容だから」が17.7pt、「すぐに働き始められそうだから」が13.6pt、「職場環境（従業員）が良い印象だから」が12.6pt高くなった。経験等を活かせる希望の仕事内容ですぐに始められることを優先しているようだ。

「感染症影響なし」の人は、「感染症影響あり」の人よりも「自宅から通いやすいから」が13.9pt、「希望の勤務時間帯だから」が8.4pt高かった。無理のない距離で、都合のつく時間で勤められる職場を探している傾向が強い。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

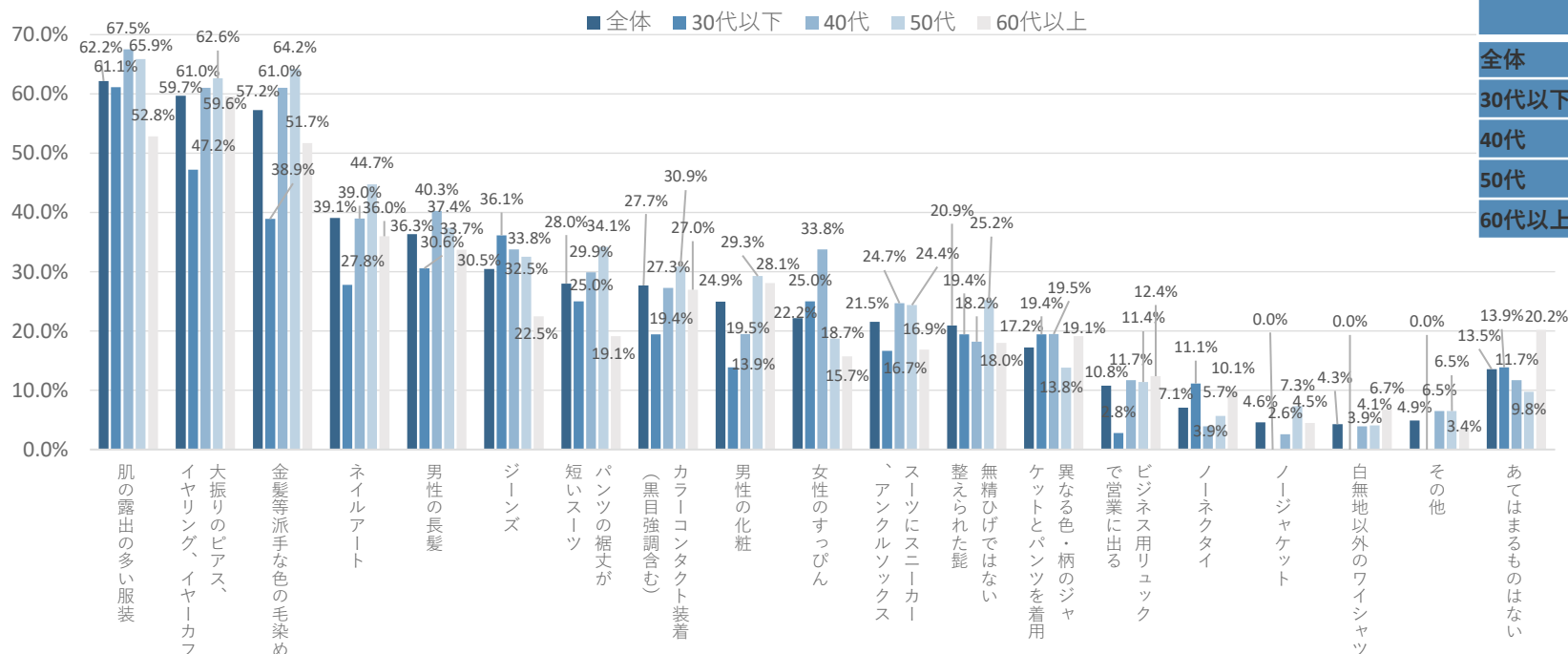


勤務時は適切ではないと思う身だしなみ

イーアイデムから求人に応募した人に、働くうえでの身だしなみについて、適切ではないと思う事柄を聞いた（複数回答）。全体で最も回答が多かったのは「肌の露出の多い服装」で62.2%、次いで「大振りのピアス、イヤリング、イヤークフ」が59.7%、「金髪等派手な色の毛染め」が57.2%と続いた。上位3項目は約6割が適切ではないとしたが、これら以外は4割未満となった。

年代別にみると、回答個数平均は全体では4.9に対し、「30代以下」が4.1、最も多かった「50代」が5.3だった。「30代以下」では他の年代に比べ、多くの項目で回答割合が低い。中でもアクセサリーや髪型に関する項目に関しては「30代以下」が他の年代の回答率に比べ低くなる傾向がみられた。一方で回答個数平均が最も高くなった「50代」では、服装に関する項目について適切ではないと感じている人が多いようだ。企業の組織構図から、50代の中には管理的職務に従事する立場の人が多くいる傾向にあることから、特に服装での統一感を気にする傾向が強いのかもしれない。逆に30代以下では個人の見た目や趣向に不快感を抱く人が少ないか、身だしなみとオシャレを混在して考えている可能性もある。

働くうえでの身だしなみについて、以下の中で適切ではないと思う内容がありますか（複数回答）



	回答個数平均
全体	4.9
30代以下	4.1
40代	5.2
50代	5.3
60代以上	4.6

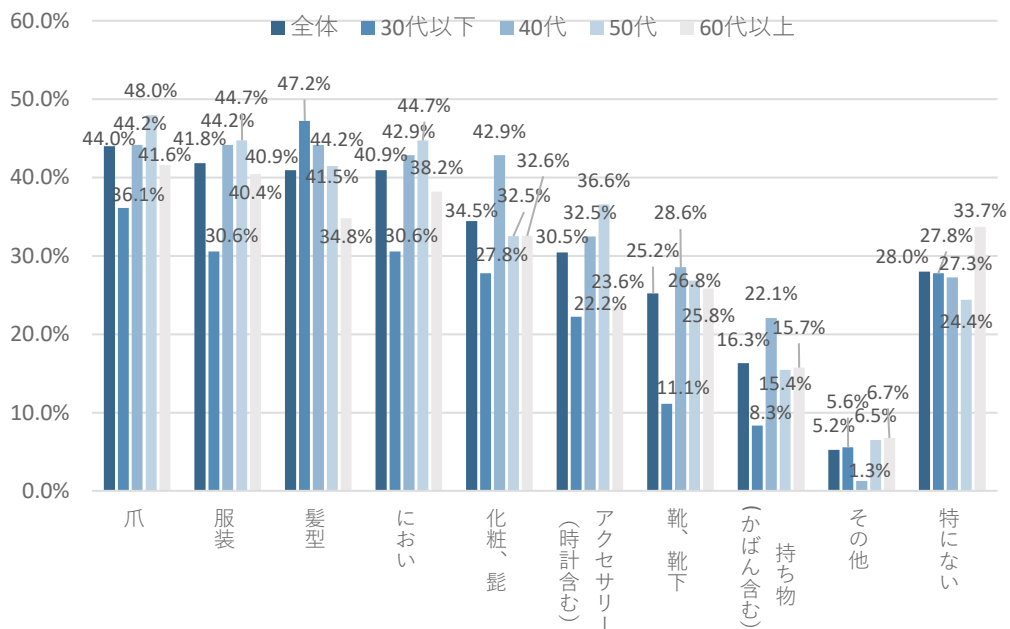
働くうえで気を付けている・心がけている身だしなみ

イーアイデムから求人に応募した人に、自身が働くうえで気を付けている・心がけている身だしなみについて聞いた。身だしなみに気を使っている人は全体で72.0%、「特にない」は28.0%となった。

全体で最も多かった項目は「爪」に関してで44.0%、次いで「服装」41.8%、「髪型」「におい」が同率で40.9%となった。

年代別にみると、「30代以下」では「髪型」に気を配る割合が最も高く(47.2%)、他の年代よりも高かった。「40代」では「化粧、髭」が他の年代よりも高くなった。自由意見をみると、いずれの年代においても清潔感を重視するといった回答が多く、派手さをおさえた、落ち着いた色合いを心がけていることが伺えた。

あなたが働くうえで気を付けている（もしくは、心がけている）身だしなみがあれば、教えてください。（複数回答）



爪	40代 女性	伸ばさない、ネイルしない
爪	50代 男性	白い部分が無いように切り揃える。
爪	60代 男性	毎日手入れを行う。
服装	40代 女性	仕事内容の応じた服装を心がける。
服装	50代 女性	職場によりかなり幅があります。勤務先の雰囲気に合わせています。
髪型	20代 女性	目に髪の毛が入らないようにしてる
髪型	30代 女性	肩につく長さであれば一つにまとめる
におい	30代 女性	香水など職場では周りに迷惑だと思わずにつけない
におい	50代 男性	出勤前に体を洗う
化粧、髭	30代 男性	基本髭剃ります、顔色悪く見えるので明るい印象になるようメイクを多少施してます
化粧、髭	40代 女性	仕事によって化粧を変えています。
アクセサリー	40代 女性	ピアスは小ぶりなもの。電話に出たときに、ガチャついて、先方に音が伝わらない大きさのものを着ける
アクセサリー	40代 女性	アクセサリーは時計以外はしない。
靴、靴下	20代 女性	黒や白、紺のものにしている。
靴、靴下	50代 女性	服装と合うものを選んでいますが、色は抑え目。靴はヒールの高くないもの。時にはスニーカーも履きます。
持ち物	20代 女性	派手じゃない物
持ち物	30代 男性	必要以上の物はいれない
持ち物	40代 女性	A 4書類が仕分け出来るビジネス用カバン、筆記用具